

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、でん粉に関して適切な価格調整を図るため、半期ごとにでん粉の需給見通しを公表している。令和2年9月に公表したでん粉の需給見通しの概要は、次の通り（詳細は2020年11月号参照）。

でん粉の需給見通し

【令和元でん粉年度（見込み）】

需要量：257万6000トン（前年度比3.0%減）

供給量：260万5000トン（同2.5%減）

【令和2でん粉年度（見通し）】

需要量：264万トン（同2.5%増）

供給量：267万2000トン（同2.6%増）

表1 でん粉の需給見通し

（単位：千トン）

		平成30でん粉年度 （実績）	令和元でん粉年度 （見込み）		令和2でん粉年度 （見通し）				
		計	10～3月	4～9月	計	10～3月	4～9月	計	
需要	糖化製品	1,772	823	910	1,733	814	938	1,752	
	化工でん粉	328	154	142	296	160	155	315	
	その他（製紙用、ビール用、片栗粉など）	557	259	288	547	278	295	573	
	合計	2,656			2,576			2,640	
供給	前年度繰り越し	12			14			29	
	国産いもでん粉（生産量）	197	206	—	206	208	—	208	
		かんしょでん粉	27	28	—	28	31	—	31
		ばれいしょでん粉	170	178	—	178	178	—	178
	調整金 徴収 対象	コーンスターチ	2,295	1,067	1,149	2,216	1,085	1,176	2,262
		輸入でん粉 （糖化製品、化工でん粉用）	141	68	71	139	71	71	142
	輸入でん粉（その他用）	9	6	7	13	7	8	15	
	小麦でん粉	17	8	8	16	8	8	16	
	合計	2,671			2,605			2,672	
	次年度繰り越し	14			29			33	

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表2 国内産いもでん粉の需給見通し

(単位：千トン)

		令和2年10月～令和3年3月 (見込み)			令和3年4月～9月 (見通し)			令和2でん粉年度計			
		かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	上期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	下期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	計	
需要	交付金 対象 用途	糖化製品	6	8	14	17	27	44	22	35	57
		化工でん粉	1	11	12	1	16	16	2	26	28
		その他	5	19	24	5	23	28	10	42	52
		小計	12	38	50	22	66	88	34	103	137
	その他の用途	0	30	30	0	38	38	0	68	68	
	計	12	67	80	22	103	125	34	171	205	
供給	前期からの繰り越し	6	23	29	24	133	158	6	23	29	
	生産量	31	178	208	0	0	0	31	178	208	
	計	37	201	238	24	133	158	37	201	238	
次期への繰り越し		24	133	158	2	30	33	2	30	33	

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注3：交付金対象用途の「その他」について

ばれいしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙（層間接着用）、水産養殖用餌料などである。

かんしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。

注4：交付金対象用途外の「その他の用途」は、片栗粉などである。

2. 輸入動向

【タピオカでん粉の輸入動向】

1月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2021年1月のタピオカでん粉の輸入量は、1万1960トン（前年同月比25.8%増、前月比90.5%増）と、前年同月から大幅に増加した（図1）。

輸入先国はタイ、ベトナム、台湾およびブラジルの4カ国で、輸入量は次の通りであった。

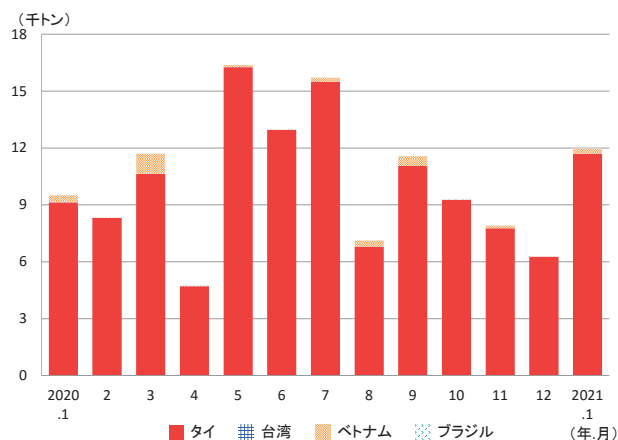
タイ 1万1700トン
(前年同月比28.2%増、前月比87.0%増)

ベトナム 244トン
(同29.5%減、同31.1倍)

台湾 12トン
(同64.6%減、同9.5%減)

ブラジル 4トン
(前年同月輸入実績なし、前月輸入実績なし)

図1 タピオカでん粉の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

2021年1月の1トン当たりの輸入価格は、4万6281円（前年同月比5.5%安、前月比4.0%高）と、前年同月からやや下落した（図2）。

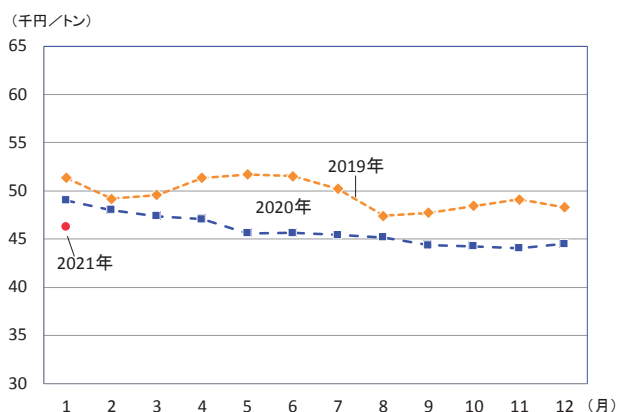
国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ 4万5788円
(前年同月比5.5%安、前月比4.3%高)

ベトナム 5万7211円
(同17.0%高、同72.5%安)

台湾 27万6891円
 (同40.6%高、同17.1%高)
 ブラジル 12万7117円
 (前年同月輸入実績なし、前月輸入実績なし)

図2 タピオカでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

【サゴでん粉の輸入動向】

1月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2021年1月のサゴでん粉の輸入量は、1157トン（前年同月比20.4%減、前月比73.7%増）と、前年同月から大幅に減少した（図3）。

輸入先国はマレーシアのみで、国別の輸入量は次の通りであった。

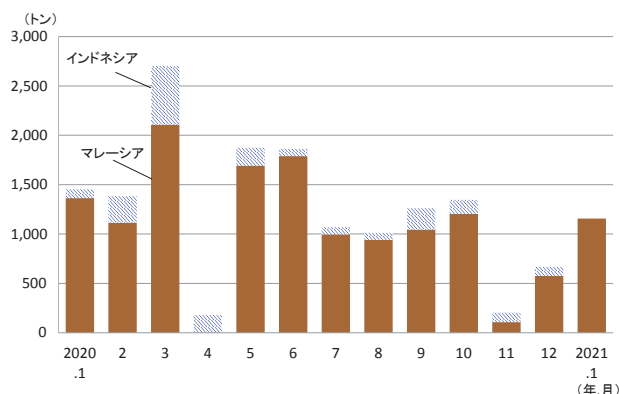
マレーシア 1157トン
 (前年同月比15.2%減、前月比2.0倍)

2021年1月の1トン当たりの輸入価格は、5万3115円(前年同月比10.0%安、前月比3.5%安)と、前年同月をかなりの程度下回った（図4）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

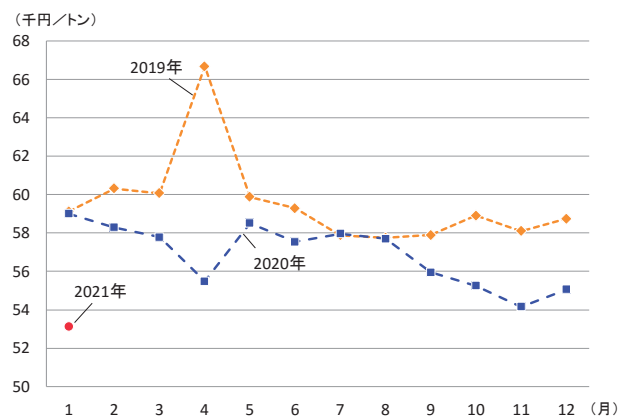
マレーシア 5万3115円
 (前年同月比10.3%安、前月比2.2%安)

図3 サゴでん粉の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

図4 サゴでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

【ばれいしょでん粉の輸入動向】

1月の輸入量は前年同月から大幅に減少

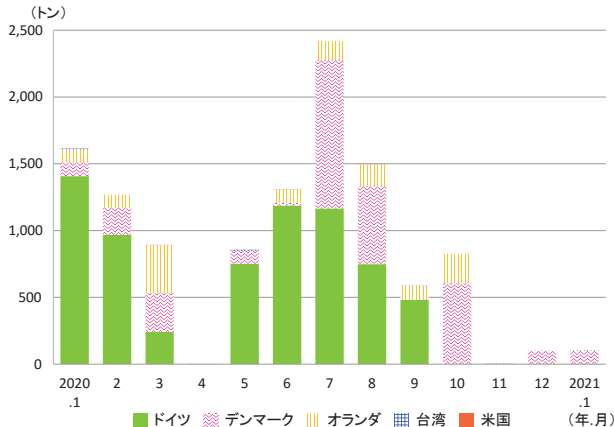
財務省「貿易統計」によると、2021年1月のばれいしょでん粉の輸入量は104トン（前年同月比93.6%減、前月比3.6%増）と、前年同月から大幅に減少した（図5）。

輸入先国はデンマークおよび台湾の2カ国で、輸入量は次の通りであった。

デンマーク 100トン
 (前年同月同、前月同)

台湾 4トン
 (前年同月比39.9%減、前月輸入実績なし)

図5 ばれいしょでん粉の国別輸入量の推移



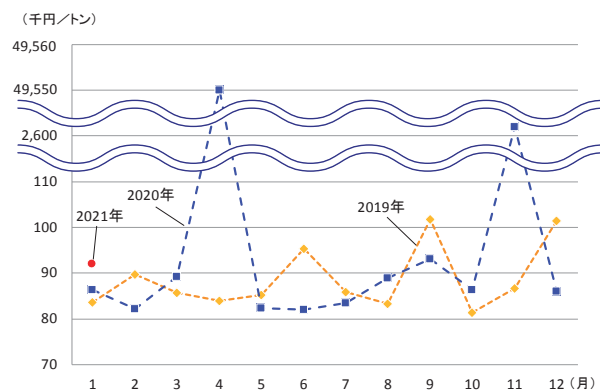
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

2021年1月の1トン当たりの輸入価格は、9万2027円（前年同月比6.6%高、前月比7.7%高）と、前年同月および前月をかなりの程度上回った（図6）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

- デンマーク 8万6310円
（前年同月比0.8%高、前月比0.4%高）
- 台湾 25万833円
（前年同月比11.4%安、前月輸入実績なし）

図6 ばれいしょでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

【でん粉誘導体の輸入動向】

1月の輸入量は前年同月からかなり大きく減少

財務省「貿易統計」によると、2021年1月のでん粉誘導体の輸入量は、2万8194トン（前年同月比12.5%減、前月比21.1%増）と、前年同月からかなり大きく減少した（図7）。

でん粉誘導体の輸入先国は18カ国で、最大の輸入先国はタイであった。主要輸入先国からの輸入量は次の通りで、タイが輸入量の約8割を占めており、次いでベトナム、デンマークとなっている（表3）。

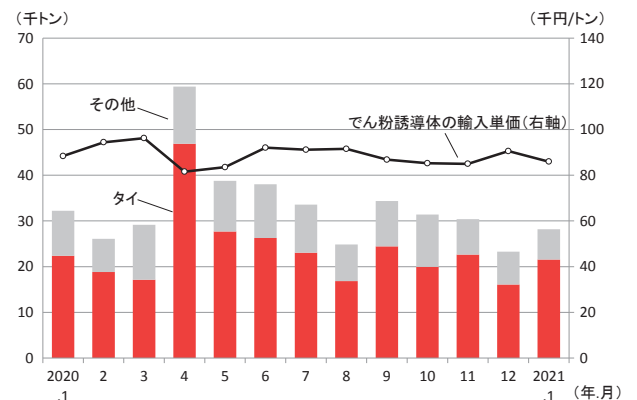
表3 でん粉誘導体の主要輸入先国および輸入量（1月）

輸入先国	輸入量（トン）	シェア
合計	28,194	100.0%
うち タイ	21,550	76.4%
ベトナム	1,246	4.4%
デンマーク	986	3.5%
豪州	973	3.5%
米国	764	2.7%
スウェーデン	548	1.9%

資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-100

2021年1月の1トン当たりの輸入価格は、8万5972円（前年同月比2.7%安、前月比5.1%安）と、前年同月をわずかに下回った。

図7 でん粉誘導体の輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-100

【デキストリンの輸入動向】

1月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2021年1月のでん粉誘導体の輸入量は、2万8194トン（前年同月比12.5%減、前月比21.1%増）と、前年同月からかなり大きく減少した（図7）。

キシトリンの輸入量は、1287トン（前年同月比20.9%増、前月比20.8%減）と、前年同月から大幅に増加した（図8）。

デキシトリンの輸入先国は9カ国で、輸入量は上位輸入先国の数量および各国のシェアも含め、月ごとの変動が大きい。

上位輸入先国からの輸入量は次の通りで、タイおよびベトナムで輸入量の約7割を占めている（表4）。

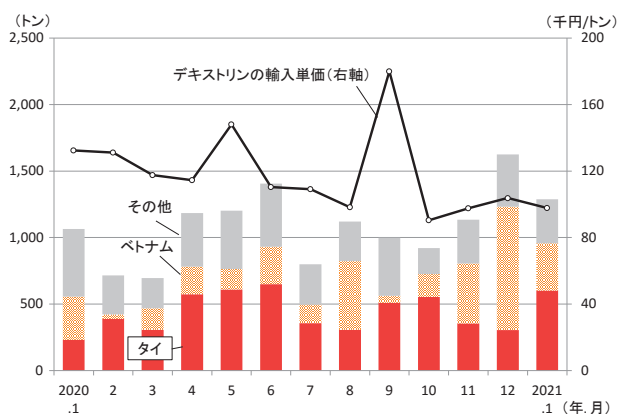
表4 デキシトリンの主要輸入先国および輸入量（1月）

輸入先国	輸入量（トン）	シェア
合計	1,287	100.0%
うち タイ	601	46.7%
ベトナム	356	27.6%
中国	84	6.5%
米国	78	6.0%
ベルギー	71	5.5%
マレーシア	58	4.5%

資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-200

2021年1月の1トン当たりの輸入価格は、9万7841円（前年同月比26.1%安、前月比5.7%安）と、前年同月を大幅に下回った。

図8 デキシトリンの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-200

【コーンスターチ用トウモロコシの輸入動向】 1月の輸入量は前年同月および前月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2021年1月のコーンスターチ用トウモロコシの輸入量は、13万4045トン（前年同月比42.9%減、前月比30.6%減）となり、前年同月および前月から大幅に減少した（図9）。

輸入先国は、米国およびブラジルの2カ国で、国別の輸入量は次の通りであった。

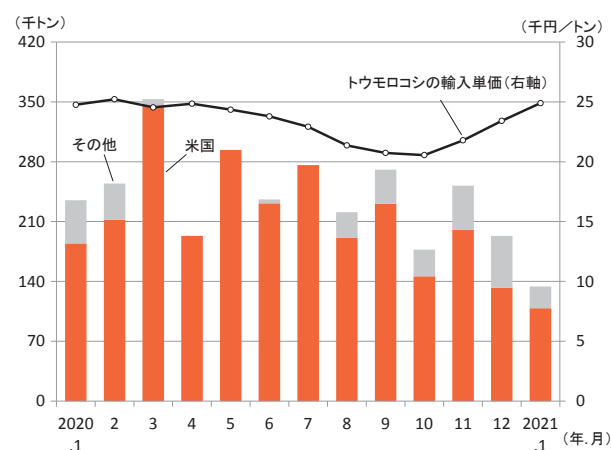
米国 10万8732トン
（前年同月比41.1%減、前月比18.0%減）
ブラジル 2万5313トン
（同49.8%減、同58.2%減）

2021年1月の1トン当たりの輸入価格は、2万4897円（前年同月比0.6%高、前月比6.3%高）と、前年同月をわずかに上回った。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

米国 2万5319円
（前年同月比0.1%高、前月比6.2%高）
ブラジル 2万3083円
（同1.1%高、同2.8%高）

図9 コーンスターチ用トウモロコシの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1005.90-091